

紙版 **ハコブネ×ブックス** vol.38

<https://hakobune.wp-x.jp>

ハコブネ×ブックスは児童文学作品・YA作品を未来に語り継ぐ web サイトです。



こちら『ランドリー新聞』編集部

The Landry news.

作者 アンドリュー・クレメンツ
 翻訳者 田中奈津子
 出版社 講談社
 発行 2002年2月
 ISBN 978-4061947535

review



デントン小学校に転校してきた五年生のカラ・ランドリーは、自分の名前を冠した『ランドリー新聞』を刊行します。前の学校でも先生や同級生の欠点をあげつらう『辛辣な紙面作り』で問題を起こしていたカラ。この学校でも、担任のラーソン先生が何とせよに給料をもらっているのはおかしいのではないかと、意見を新聞に掲載します。確かにラーソン先生は、子どもたちに自主的に勉強をさせる放任主義の教育方針を標榜していました。自分の問題点を公然と指摘されたラーソン先生は、憤慨したものの、素直に非を認めて、カラの新聞づくりを支援するようになります。カラもまた、ただ真実を伝えるだけでなく、人を思いやり慈しむ気持ちを持っていきます。先生と生徒の心情の変化と成長が鮮やかに描かれます。

特集

子ども記者の鉄筆

いつか空の下で
さくら小ヒカリ新聞



作者 堀直子
 出版社 汐文社
 発行 2022年12月
 ISBN 978-4811329826

review



飼いだの散歩の途中で、近所の養鶏場で行われていた残酷な殺処分の光景を見てしまい、大きなショックを受けた小学四年生の女の子、あすか。学校で人気の新聞部に入部したいと考えていた、あすかは、その入部試験に養鶏場のことを記事に書くように調べ始めます。コストを下げるために鶏が狭いカゴに入れられて身動きできないまま飼育されている状況や、食用の動物であっても健康で幸福に生きるべきというアニマルウェルフェア（動物福祉）という概念を、あすかは知ります。新聞部の選考に間に合わず、あすかは、健康に育てられた平飼いの鶏の卵を高価でも買うべきだとクラス発表で訴えるものの賛同は得られず、自らヒカリ新聞という新聞を作り、記事を書いて考えを広めようとします。正義感と理想をもって妥協せず、あすかは、記者としての使命を果たそうするので。

スパイになりたいハリエットの
いじめ解決法

Harriet the spy.

作者 ルイズ・フィッツヒュー
 翻訳者 鴻巣友季子
 出版社 講談社
 発行 1995年5月
 ISBN 978-4061947306

review



ハリエット・ウォルシュは、将来作家になりたいと考えている小学六年生の女の子です。それならすべてのものを書きとめなさいと、家庭教師に言われたハリエットは、ノートに観察したことを書き綴るようになります。近所の監視対象の人たちを見張るハリエットは、もはや自分をスパイだと思っています。その緻密な観察眼は学校の同級生たちにも向けられ、ノートには辛辣なコメントが書き残されていました。それを同級生たちに知られ、ハリエットのノートは悪口帳だと非難され、教室での居場所を失くしていきます。とはいえ、まったくくめないハリエットは、校内新聞の編集委員となり、彼女を追い込もうとするクラスリーダーの欺瞞を、新聞で暴いていきます。囲まされても萎縮せず、孤立無縁であってもペンで闘うハリエットの突き抜けた個性が痛快な物語です。

夏の記者



作者 福田隆浩
 出版社 講談社
 発行 2010年10月
 ISBN 978-4062165648

review



新聞社の企画で、夏の期間だけの特派員記者「夏の記者」に選ばれた小学五年生の佳代。「夏の記者」になった他の小学生たちが、自分で取材した記事を新聞に掲載しているのに、まだ何も書けない佳代は焦っています。そんな佳代、佳代は、昨年オープンした市営のスポーツ総合施設で起きた事件に遭遇します。施設のガラスに石を投げつけた若い男性には何か事情があるらしい。調査をはじめた佳代は、施設の来場者十万人達成イベントがこの事件に関係していることを掴みます。ところが施設の館長も、イベントを取材した新聞記者も、佳代の取材に難色を示し、露骨に妨害するのです。やがて真相にたどりついた佳代は、渾身の記事を書き、隠されていた事実を暴いてしまします。大人の事情と子どもの正義がせめぎあい、気まぐれな結果が導き出される苦い味わいの物語です。

特集

子ども記者の鉄筆



ラスト★ショット
(ジョン・ファインスタイン)
評論社 2010年

バスケットボールのファンで、記者としてこの世界に関わりたと思っていた十三歳のステイビービーは、子ども向けの記者コンテストを勝ち抜いて、カレッジリーグの決勝戦の記者章を手に入れました。ところが取材中に事件が発生します。スター選手を助け、特ダネもゲットする子ども記者の活躍はこちらで。

紙版「ハコブネ×ブックス」vol.38

2023年11月1日発行 ●発行人 きむらともお

事務系社員。趣味で児童文学紹介サイト「ハコブネ×ブックス」(非営利)を運営しています。日本児童文学者協会第6回児童文学評論新人賞佳作他、諸々を受賞。



旧 Twitter 連携しています。
@tomostretch